

社会福祉法人

令和3年12月号



葦の家福祉社会だより

Studio Ashi × Öl Aburayama



新作商品
ぞくぞく登場!

2021
WINTER
NEW ITEM

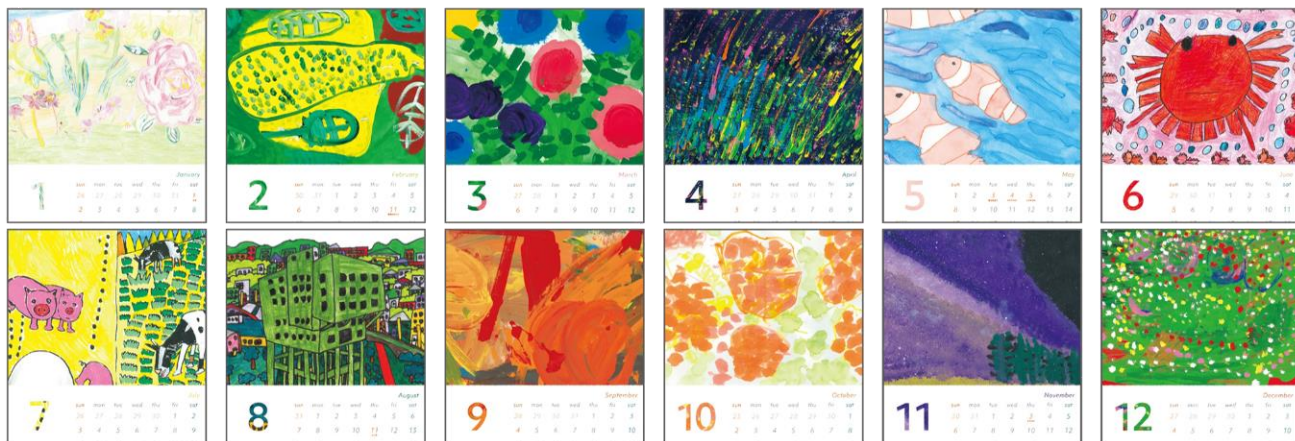
今年度も葦の家とえーる油山合同の冬季授産品販売が始まりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、バザー出店や行事が縮小されている中、仲間への工賃支給を目指して販売活動に取り組んでいます。目玉商品は、恒例の Studio Ashi×Öl Aburayama アートブックカレンダーです。表紙から裏表紙まで、13名の仲間の16作品が使用されています。

今回は「レインボー」をテーマに作品を集めました。鮮やかな赤い表紙で始まり、虹のようにカラフルな作品は、毎月みなさんの生活空間を明るく彩ってくれることと思います。月が替わった後もお部屋に飾って、仲間の作品をじっくりお楽しみいただけます。1冊1,400円で600冊限定となっております。お早めにお買い求めください。

各月のイラストは次頁で



月替わりで仲間たちの作品をお楽しみください!



カレンダーは 600 部限定です! ご購入はお早めに!

おてがみセットだよ

葦の家では、新しい一筆箋が登場しました。今回は長年皆さんからご要望をいただいております封筒付きのレターセット「おてがみセットだよ」となっております。春夏秋冬をイメージした4種類の一筆箋が2枚ずつと、古代生物の描かれた封筒が4枚入ったセットです。コロナ禍でなかなか会えない方へ久しぶりにお手紙を送ってみませんか。



✉ 封筒 4 枚入り!

Studio Ashi
×
Öl Aburayama



ランチバック & ステンレスボトル

世界全体で取り組まれているSDGs(エスディージーズ)。えーる油山でも何かできることはないかと、「マイバッグ」「マイボトル」を新商品として制作しました! レジ袋やペットボトルなどのゴミを減らすことで、地球環境保全に少しでも貢献できるのではないかと考えています。ランチバックは「ろくろ(濃緑)」と「へちま(黄)」の2種、ボトルは3色のバリエーションを用意しています。



仲間たちのワクチン接種

法人職員は福祉従事者ということで6月下旬から優先して新型コロナワクチンを接種できました。しかし、仲間たちについては一般接種よりは少し早めに接種できるという情報が出ていたものの、そもそも注射すら難しい仲間もいる中、集団接種への参加というのもハードルが高い状況でした。

そこで、日頃から仲間や職員のケガや体調不良等を診ていただいている「りょうすけ内科外科」の山口院長に相談したところ、「葦の家に訪問して仲間たちにワクチン接種をしましょうか」と申し出ていただきました。



これを受けて、葦の家・えーる油山の両施設では葦の家内で接種を希望する仲間を募り、「りょうすけ内科外科」の皆さんの協力を得て、希望者全員、計31名の仲間が2回目までの接種を無事終わりました。普段、採血ができていない仲間も接種できたりするなど、ご家族もすごく喜ばれていました。インフルエンザワクチンについても同様に21名の仲間施設内での接種を行っていただきました。

今回、ご協力いただいた山口院長に、葦の家との関わりについてお話を伺いました。

Q. 初めて仲間たちにあつた時の印象はどうでしたか？

元気いっぱいだなーと思いました。また、利用者とかではなく、仲間と呼ぶんだなと思いました。

Q. 「葦の家」の印象は？

「仲間」のことばに表されているように気負わず、自然に接しているなと感じました。仕事としてではなく、家族の面倒を見るような接し方であるし、仲間のことをひとりひとりよく分かっているなと思いました。仲間みんなが元気な印象があつたのは、仲間として認められているのに気付いているからでしょうか。

Q. 医者として障がいがある人への接し方で難しいと思う点がありますか？

本人のためとは思って、痛みを伴う医療行為を行っていますが、本当に望まれているのか、毎回葛藤です。

Q. 地域で生活する障がいがある人と医療との関わりについて感じていることをお聞かせください。

私自身、今まで多くかかわりを持っていただけではありません。障がいを持つ人が、どう暮らしているか、社会生活を送っているか、多くの人は知りません。当事者ではないからです。

現代人は忙しい人がほとんどだからだと思います。しかし、障がいを有する人がどんなパーソナリティを持つのか、施設としてどういう風に接していて、どんな活動をしているのかを知ることが本当に大事なことだと思います。

今回、ワクチン接種などを通して、皆さんのことを知ることができました。クリニックのスタッフも知ることで、サポートしたいという気持ちが生じています。このように輪を広げていくことを、地域医療としてお手伝いが出ていければ良いなあ、と思っています。

(裏面に続く)

法人内の施設では、この「りょうすけ内科外科」以外にも仲間たちの健康診断や訪問診療などでお世話になっている医療機関がたくさんあります。中には難しいケースに対応してくれるところもあり、仲間たちの地域生活にとって欠かせない存在となっています。

新型コロナへの対応だけでも大変な状況の中、きめ細やかに対応して下さる医療機関の皆さまに心から感謝申し上げます。



きょうされん全国大会（オンライン）に参加しました！

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったきょうされん全国大会が、今年は10月29日（金）にオンラインで無事開催されました。全国列島リレーメッセージでは全国各地の作業所の紹介や県の紹介がありました。他県の仲間の発表を聞いて、「こんな仕事がしてみたい」「コロナが落ち着いたらここに旅行に行ってみよう」といった声があがりました。他の施設のことを聞いて刺激を受け、有意義な時間となりました。早く新型コロナウイルスの感染が落ち着き、また以前のような全国大会が現地で開催されることを願っています。



中期事業計画中間総括

法人の第4次中期事業計画（令和2年～4年）の中間モニタリング作業を行いました。今期は3年計画の折り返しにあたり、その後半に向けた総括を行いました。

その中で「重度・高齢化」「災害・非常時」「老朽化」「地域作り」「組織化」という5つのキーワードが浮上りました。特にグループホームには縮図となってあらわれ、「重度」の障がい対応に加え、利用者の平均年齢は53歳を超え「高齢化」に伴う疾患、通院介助が増大し、運営に大きな影響を与えています。集中豪雨や台風への備え、避難対策、新型コロナウイルスなど「災害・非常時」の対策に職員の疲労もピークに達しましたが、一つ一つ法人全体で連携し、乗り越えてきました。築23年目を迎えた葺の家では、設備が「老朽化」し、エレベーターやフェンスなど安全対策のリニューアル工事に取り組んでおり、えーる油山も施設の雨漏りや手狭なために移転プランを策定中です。放課後等支援事業は専用棟建設を市に要望しています。新たな「地域作り」では、樋井川流域における、商店街、アート、治水、伝統文化の継承など、福祉を横断した新しい地域のネットワーク作りを目的とした「樋井川流域サミット」に参画しています。地域生活支援では新たに地域公益事業を開始しました。最後に「組織化」です。具体的には、人事、財務、労務に加え、人材確保、定着、育成も含めた経営基盤作りが大きな課題になっていますが、なお道半ばであり多くを後期に持ち越しています。

課題も多くありますが、これまで職員の努力により、よくコロナ禍を乗り越えてきました。これから、後期に向け本来の地域にねざした実践と経営を推進していきたいと思えます。

（理事長 友廣道雄）



葦の家（生活介護）

作品展示会を開催しました！

昨年から共催している「ふくおか県民文化祭」の協賛事業として仲間たちの作品展示会を開催しました。障がい者地域生活支援センターリード内の「グループホームすてっぷ」のリビングに作品を並べ、仲間たちの作品だけではなく、普段見る機会が少ないグループホームの様子を地域の方にも見ていただく機会となりました。

当日は、2022年カレンダー・新商品「おてがみセットだよ」に採用された仲間たちの作品のほか、「春夏秋冬」のテーマに向けて制作したものも含め53点の作品が並びました。コロナ禍で制限された環境ではあるものの、それぞれの季節に出かけたい場所、これまで行って楽しかった場所、たくさんの想いがつまった作品を皆さんに見ていただくことができ、仲間たちもうれしそうにしていました。

（サービス管理責任者：岡村）

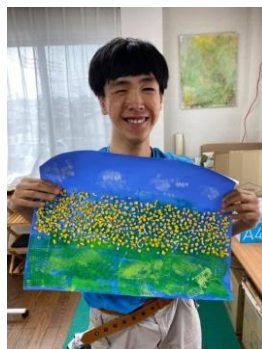
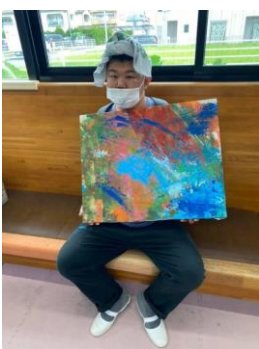


えーる油山（多機能型：就労継続B型+生活介護）

創作活動、楽しんでいます（^^）

コロナ禍のなかでも秋を楽しもうと、ÖI-1（エールワン）グランプリを開催します。これは公園外出などで「秋」だと思ったものを写真に撮ったりドングリなど拾ってきたりして、その後、できあがった作品を室内に展示。仲間と職員の全員で投票しグランプリを決定します。賞品はその作品がプリントされたTシャツ！参加賞はそれぞれの作品の絵ハガキです。いまからどんな作品が飛び出すか楽しみです。また、今年は「ウインドウ展覧会」を企画。事業所の窓に仲間の作品を展示しており「毎月楽しみにしています」とご近所の方からも好評をいただいています。来年は、近くの「あ～す保育園」の園児たちの作品も飾る予定となっており、地域交流にも一役買っている創作活動です。

（支援員：山内）



特別支援学校放課後等支援事業（屋形原・若久）

“秋”しました🍁

今年も、芋掘りとハロウィンのイベントを行いました♪ 今年は小学部1年の児童さんの利用が増えたこともあり、“はじめて”の体験をドキドキ・わくわくしながら、楽しんでくれたようです🍠

6月に植えたさつまいもは、昨年よりも大きく育てており、たくさんのこどもたちと一緒に掘ることができました。熱心に土をさわる子、恐る恐る芋を手取る子、暖かい日差しに気持ちよさそうにウトウトする子…いろいろな表情が秋空の下に広がりました。



ハロウィンイベントでは、初めて「りーど」を訪ねました！スタッフ以外にも、ショートステイを利用中の葦の家の仲間など、たくさんの人たちに歓迎してもらい、とてもにぎやかなハロウィン🍬

こどもたちの「お菓子をくれなきゃイタズラするぞ〜」の掛け声が響き渡る、季節のイベントを満喫した2021年の秋でした。

（責任者：是永）

ヘルパーステーションほっとほっと・ショートステイ

支援SV（人材育成）今年度の取り組み

ホームヘルパーの仕事は、利用者とマンツーマンで支援することがほとんどです。日々変化のある利用者の『様々なニーズに沿った支援』を行う中で、ヘルパー自身の緊張感が高まる場面も多く、不安な気持ちや緊張を少しでも解消出来るように、今までとは少し違ったスタッフ研修会を今年度より始めました。



これまでの研修では、支援の引継ぎを伝える【情報】を中心とした事がメインになっていました。今では利用者も支援者も体に負担の少ない介助の方法や、コミュニケーションなど、支援に欠かせないスキルを学ぶための研修を実施しています。

この他にも、日々の小さな感謝をメッセージにして伝える「ありがとうカード」を月ごとにまとめて掲示しています。言葉で伝える事とは違い形に残るありがとうカードは見た人も笑顔にします。日々の支援で緊張した気持ちが少しでもほっとするものになればいいなと思います。

（支援員：光安）



相談支援（基幹相談支援センター・相談支援センターあしっぷ）

重度障がい者の地域生活支援の現状について

今回は、最重度知的障がいのあるご本人とご高齢のお母さまの二人暮らしのケースについて紹介します。ある日、お母さまが急な体調不良でご本人を看れなくなり、受け止め先を探す必要が出ました。短期入所で緊急的に1か月程度受け止めていただけましたが、施設はてんかん発作や夜間覚醒のあるご本人の見守りが人員体制上難しいとのことで、ご本人を長期的に受け止められる場所を見つけることはできませんでした。現在は唯一受け止めていただいた病院に期間限定で入院し、退院後に在宅で支援できる体制を調整しています。

お母さまが行っていたご本人の身辺介助や家事支援などを、今度は支援者でどう担っていくか、またご本人の意思決定をどう支援するかを決めていく必要があります。個別ケア会議を通じて支援チームをつくり、ご本人やお母さまが安心して生活できる支援体制を整えているところですが、公的サービスだけでなくあらゆる地域資源を活用して支える基盤作りの難しさを痛感しています。皆さまのご理解・ご協力をより一層お願いいたします。

（主任コーディネーター：白石）



グループホーム（すてっぷ・すまいるホーム）

地域の一員としてできること ～小さなことでも大切に～

すまいるホームがある樋井川3丁目2区は毎月の地域清掃、そして年1回の地域ぐるみ清掃があります。ホームからも仲間・職員・ボランティアさんで参加しています。

毎月の地域清掃では樋井川中央公園のゴミ拾いを朝1時間ほど行い、その後、地域の行事や防犯・防災などのお話を聞きます。近々、その樋井川中央公園に新しい遊具が設置されるそうです。自治会長さんたちが地域の方々の健康増進を願い、遊具設置の検討をされていました。この公園は地域で幅広く利用されていて、葦の家の仲間たちもウォーキングで利用したり、お仕事でトイレ清掃をしたりしています。

また、第3土曜は子ども会育成会の廃品回収があり、ホームから出た段ボールや古紙などを回収してもらっています。集積場所がホームの目の前なので、出勤前に仲間たちもできる範囲で運んでいます。

コロナ禍でなかなか地域の方々との交流できる機会が少ないですが、微力でも地域でお役に立てるところがあれば参加したいと思っています。

（管理者：藤）



WEB わはは祭り 2021 企画を進めています！

毎秋に開催している法人の恒例行事「わはは祭り」がコロナ禍により2年連続で開催できませんでした。地域とのつながりでもあるこのお祭りを継承すべく、法人では Youtube(ユーチューブ)上で公開する「WEB わはは祭り」企画を進めています。ビデオメドレー形式の「わははサンバ」、仲間たちのアート活動紹介など、仲間たちの元気な姿を皆さんに見てもらえるよう、現在、ビデオ撮影を進めています。どうぞご期待ください！



SNS で情報発信しています！

葦の家や法人内の各事業所の活動の様子を各種 SNS で発信しています。各 SNS サイトから「葦の家」で検索してください！

現在、法人では Facebook (フェイスブック)、Twitter (ツイッター)、Instagram (インスタグラム) 上でサイトを公開しています。ぜひご覧ください！



えーる油山の移転先を探しています！

えーる油山は平成 28 年に開所しました。もともと中古物件で設備自体が老朽化しており、雨漏りや空調設備の不具合なども多い上に、活動面積も狭く、仲間たちにとって十分な環境が整っているとは言えません。この状況の中、関係者から空いている貸家を作業場として使いませんかとの申し出があり、現在そこを 6 名分の作業分室として開設する予定です。

これにより手狭だった作業スペースにもゆとりができ、作業環境の改善につながるのではないかと期待しています。しかし、施設の老朽化という根本的な問題は解決しておらず、法人では「えーるプロジェクト」を立ち上げ、仲間たちが安心・快適に活動できる移転先を探しています。移転先に関する情報がありましたらえーる油山 (092-834-8900 担当：佐々木) までご連絡ください。



社会福祉法人 葦の家福祉会だより 令和 3 年 12 月号

発行日 令和 3 年 12 月 1 日

編集・発行 社会福祉法人 葦の家福祉会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川 4 丁目 1 - 1 7

〈代表〉Tel 092-873-7481 Fax 092-834-3362

E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp

URL <http://www.ashi.sakura.ne.jp>